6月

令和５年度 生涯学習情報

まなび ましょう

令和５年６月８日発行

3号

大桑村教育委員会・大桑村公民館
大桑村歴史民俗資料館・大桑村図書館



６月 大桑村図書館 大桑村歴史民俗資料館 イベントカレンダー

月	火	水	木	金	土	日
			1	2	3	4
	企画展示：タイトルが気になる（～７月23日まで）				推しレコ！〈お試し版〉	
			企画展：三宅策郎作品展（～６月18日まで）			
5 休 休	6 企画展示：タイトルが気になる 企画展：三宅策郎作品展	7	8	9	10	11
12 休 休	13 企画展示：タイトルが気になる 企画展：三宅策郎作品展	14	15	16 まめっこおはなし会	17 図書館 de シネマ 上映作品 博士の異常な愛情	18 もぐもぐリサーチ〈珈琲とドーナツの回〉
19 休 休	20 企画展示：タイトルが気になる	21	22	23	24 さわってみよう！デジとしょ信州	25
26 休 休	27 休 蔵書整理日	28 企画展示：タイトルが気になる	29	30		

大桑村図書館からのお知らせ

企画展示 タイトルが気になる

図書館の書棚を整理していると、気になるタイトルの前で足が止まり、手に取って読んでみたい衝動にかられます。表紙をめくると、思ってもみない展開が待っていたり、今まで知らなかった事柄に巡り合えたりします。今回は「タイトルが気になる本」を集めてみました。

期間 令和５年５月31日（水）～７月23日（日）

イベント まめっこおはなし会

言葉遊びを覚え始めた、２歳児を対象としたおはなし会です。どなたでも参加できます。図書館横のキッズルームで、一緒に手遊びやお話を楽しみませんか。

日程 令和５年６月16日（金）
10：00～

話者 図書館スタッフ ほか

イベント さわってみよう！ デジとしょ信州

ログイン方法や本の検索など、デジとしょ信州の便利な使い方をご案内します。ご自身のスマートフォンやタブレット端末等をご持参ください。

日程 令和５年６月24日（土）
14：00～16：00
（時間内随時受付）



イベント 推しレコ！ Track1

みなさんの持ち寄る“推し”のレコードたちを、図書館で流します。ご自宅の押し入れに眠る名盤に、久しぶりに針を落としてみませんか。

日程 令和５年７月１日（土）
13：00～17：00

新着本 今月の一冊



『シニア暮らしにちょうどいい２人分献立』

岩崎 啓子／著

ワン・パブリッシング 596／イ

シニア世代におすすめの献立を紹介。食材のムダがでない３日間使い切り献立など、２人分にちょうどいい２品献立を提案します。栄養バランスがいいのに、簡単に作れるレシピが満載！

大桑村図書館HP

おおくわブックナビ（蔵書検索）

図書館新着本

デジとしょ信州（市町村と県による協働電子図書館）

お問合せ

大桑村教育委員会　0264-55-1020（8:30-17:15 ※土日祝休み）
大桑村歴史民俗資料館　0264-55-3550（9:00-16:30 ※月曜休館）
大桑村図書館　0264-55-2321（10:00-18:00 ※月曜・毎月最終火曜休館）

資料館イベント・企画展 開催報告

開催報告

大桑村に芝居小屋があったころ ～中山座展～

4月22日（土）～5月14日（日）開催 （来館者291名）

明治初期から昭和初期まで、村内にあった芝居小屋「中山座」の芝居小道具・台本・襖絵・升席表などを展示しました。



ふすま絵を見る来館者

参加者の声

- 芝居小屋があったと、話には聞いていたが具体的には何も知らなかった。新聞を見て是非知りたいと思って来ました。　（村内70代）
- 中山座の事、特に升席の版木を初めて見たので、びっくりしました。（塩尻市60代）
- こんな貴重なもん、よう残してくれたと思う。（村内90代）
- 立派な背景画なども作られ、本格的に芝居が行われていたのですね。資料がこのように残っていることを大事にしたいと思いました。前回のイラストレーターの方の作品展、今回の中山座の資料の展示、今までになかった展示がされていて、興味深く見させてもらっています。（村内70代）
- 歴史を伝える施設って本当に大切ですね。残せるものを残せる人が今やっている。とっても大切なことです。（滋賀県70代）
- いいものをみせてもらい発想のすごさに感動しました。（村内80代）

ご参加・ご来館ありがとうございました！

寄贈品紹介

日本画家 折井宏光氏の油彩画「須原の花摘み」をご寄贈いただきました。

折井氏が昭和52年頃須原に来た際に、幸田露伴の『風流仏』をモチーフにして描いた作品のようです。白木正さん（須原）の仲介で、林敦子さん（塩尻市）より寄贈されました。林さんは、母親の故郷・須原を描いた絵が、少しでも地域の役に立てればと寄贈して下さいました。



※ 資料館への寄贈は、全てお受けできるとは限りませんのでご了承ください。

大桑村歴史民俗資料館からのお知らせ

講演会 「大正大水害から100年 ― 開発・労働力・エネルギー」

7月1日（土）～7月23日（日）開催の「大桑村災害の記録展」にあわせて講演会を開催します。

日程 令和5年7月8日（土）
13:30～15:00

講師 笹本 正治 氏（長野県立歴史館特別館長）

会場 大桑村役場 多目的ホール

申込 大桑村歴史民俗資料館（TEL 裏表紙記載）



サヨリ沢、長野東志波宅付近
（大正12年7月20日）

先人の残した“男岩・女岩”の記録を辿って

村外の方から、資料館に以下のようなお問い合わせがありました。

江戸時代末の先祖が残した古文書を頼りに、中山道を歩いている。先祖は須原宿の手前で「めずらしき石」と記していた。また、このあたりには男岩・女岩の民話があると聞いた。以下の内容を教えてほしい。

【Q1】男岩・女岩の民話は本当にあるか
【Q2】昔の男岩・女岩の写真が見たい
【Q3】かつて男岩・女岩のあった場所はどこか



鉄道建設のため割られる
男岩・女岩

そこで、大桑村に関する資料をもとに“男岩・女岩”について調べてみました。

【A1】『大桑村の歴史と民話』志波英夫著 p243、および『須原（復刻版）』須原明治百年記念事業委員会編 p241～242に、男岩・女岩に関する民話が掲載されていました。
【A2】『写真で見る100年』大桑村編 p14に、鉄道建設のため割られる男岩・女岩の写真が掲載されていました。
【A3】『須原（復刻版）』p359に「男岩女岩は鉄道線路より奥300m位の松渕沢に有り」と記述がありました。この記述を頼りに、実際に松渕沢沿いを探索すると、鋭く割られた巨岩を発見しました。



発見した巨岩
高さは10m近い

このような問い合わせがあった際、今回紹介した資料のお陰で、地元でも埋もれかけた歴史に辿り着くことができます。
改めて貴重な記録を残してくれた、先人の業績に感謝です。